

● 顕現後第五主日

泉のほとり

今日の詩編「第六〇篇」

神と共に我らは力を振るっています。

神が敵を踏みじつけてくださいます。



心の貧しい人は幸い

聖言は神の言葉です。でもそこに言かれてあるのは人間の言葉です。主イエスも人間の言葉を話されました。神さまが人間の言葉を用いられるのは、ご自分を伝えたいからです。神さまを知らずに死んだら、わたしたちは滅んでしまうからです。

でも神さまが語られることは、人間の常識を越えています。今日の「心の貧しい人々は、幸いである」との言葉もそうです。この貧しさは、乞食をするくらいに貧しさです。自分で自分の心を満たすことができない人、他から満たしてもらわな

いとどうにもならない人が、心の貧しい人です。わたしたちの常識では、そういう人は決して幸いではありません。心は豊かな方がいいです。心が豊かであれば、他の人に、親切な心や、愛の心を分けてあげることができそうです。そういう人を、わたしたちも喜ぶでしょう。品川教会附属幼稚園に通うと、心の豊かな子どもになると思うから、親は子どもを通わせるのです。

「悲しむ人々は、幸いである」との主イエスの言葉も同様です。わたしたちが悲しむのは、何か思いがけない不幸に襲われた時です。自分が病気になるったり、親しい人と別れたり、希望する道に進めなかったり、そういう時に悲しむのです。病気になるって悲しんでいる人に「あなたは幸せだね」と言うことは、決しないでしよう。でも主イエスは、そう言われたのです。そして主イエス

の言葉は、神さまの言葉です。神さまの見方と、わたしたちのものの見方は、これほどに違うのです。

先週の説教聴の集まりで、牧師たちが、自分がどうして牧師になったかを語りました。殆どの牧師が、心に痛みを持っていました。ある人は大学の時に、高校の同級生だった女子が自殺したことを聞いて、彼女から手紙をもらっていたことを思い起こし、読み返します。そこに彼女の心が書いてありました。どうしてそれに早く気づいてあげなかったのか、自分を責め続けたと言います。またある人は、心の病で迷惑な行動をする兄を無視して生きていたのですが、兄を見捨てなかった母の努力で、兄は洗礼を受け、病氣も治ります。

その時、彼を無視し続けた自分の心の冷たさを痛感させられるのです。でも二人ともそういう経験を通して、神さまに出会い、牧師になる決心を与えられました。

人は心の中に、誰にも言えない恥ずかしい思いや悲しみを抱えていて、そこで神さまに出会おうのだ、と言った人がいますが、その通りです。

心の貧しい人々は幸いである。天の国はその人たちのものである。悲しむ人々は幸いである。その人たちは、慰められる。そう主は言われました。天の国を見出し、その慰めを体験した者が、それを宣べ伝える者になったのです。

(マタイ五・一〜一二)

正しい場所を求めなさい

いまやあなたたちはキリストとともに
よみがえつたのだから、高みのも
のを、神の右の座に坐してキリスト
のいますかの処を求めなさい。

コロサイの信徒への手紙三章一節

父と

御子と

聖霊の名において

その手紙はその最後の読み手に

向けられている、

このわたしにも向けられている。

あなたの霊とともにあなたは

わたしの内にいて

わたしの内に祈る

あなたが来たのは

失われた者たちが

失われ続けることがないように。

祈りの内にわたしはあなたを見いだ

す。

わたしがあなたを見いだすように。

祈ること？何という辛い、
至福なる「わたし」の死？

「我ら」というキリストの体の内に

王のようによみがえること。

よく考えてみなさい、それがキリスト
を真にして聖なる仕方です。思ひえがくこと
と、我々は直ちに天に引き上げられ、そこ
で彼を崇め、我々が感ずる心の總てをもつ
て彼のもとに留まることになる。

コロサイの信徒への手紙三章一節へのカル

ヴァンの言葉

R・ポーレン 「祈る」より

今日のお知らせ

○第一礼拝後、ロビーでのコーヒーサービス
と、圖書・贈り物室では、「ぶどうの会」
が開かれます。

○第二礼拝後、ホールで讚美と報告の会をしま
す。お昼はお介当です。

○午後一時半から、ハイアルベルク信仰問答を
学ぶ会をします。今日は問五三と五四を学び
ます。多くの方が参加されますように。

○今週六日（火）幼稚園年長組のお別れ遠足で
す。江ノ島水族館へ行きます。

○薬園音楽伝道師は、一〇日、土曜日、一五
時からよみうりランド慶友病院で、フルート
コンサートの奉仕をします。お祈りくださ
い。

四国だより

冬枯れの庭に白い大輪の山茶花の花が凛として咲き続けています。一年の最後の月を迎えました。謙んで十二月の牧会報告をお送り致します。

今年のCSの皆さんによる聖劇では、台本作りの時から人々の救いの現実性をこめた純福音を投入したもののと、教師の皆さんが一致した事を主がお喜び下さったと信じます。未信者の方々が聖劇を見て、キリスト教に開いての新発見をされ、何か心に残ったものに主が触れて下さることを祈りました。

はるか昔に神学大学でご指導下さった金エシュルン先生との再会には、全く予期せぬ出来事でしたが、これは主がいつも私にして下さる尊い贈物を賜る時のパターンです。十二月十八日に松山にあります九州のフルゴスベル福岡教会の松山礼拝所にて先生ご夫妻と皆様にお目にかかり、感動的な時を過ごす事が出来ました。初めてお会いする皆様ですのに、何年も前から交流があったのかの様に、特別な親しみをこめて歓迎していただき感謝でした。それはきつと私が金エシュルン先生の教え子であることによる親しみによるも

のではと、うれしく感謝いたしました。エシュルン先生の説教の時間は、遠い昔の学生時代にタイムスリップしたようで、主の平安と喜びに包まれて何う事が出来ました。み言葉は生ける主、この御方への全き従順こそが生ける主。どんなにかお喜びになり、栄光の糸が私達に祝福を流して下さる、身に余る御恵みに生かされているという内容でした。

今回の再会を金エシュルン先生はとてもお喜び下さり、かけ寄って下さった教役者の奥様が私の両手を取って下さり、「先生、四国のリバイバルの為に、どんな小さな事にも信仰によって励んでまいりましょうね！」とお励まし下さり、勇気が与えられ感謝でした。(つづく)

二〇一八年一月十二日

田端良恵記

聖書の会へどうぞ

2月7日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「嵐の海を越えて」

マタイ14章22〜36節

吉村和雄牧師

●聖書の夕べ(19時)

「神の業の奥深さ」

ルカ22章1〜13節

吉村和雄牧師



次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌讃21 17番 わたしのとらうに

説教「服を立ててはなりません」

聖書マタイ5章17節〜26節

説教者吉村和雄牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌59番 229番

詩編第60編

説教「狭い門から入りなさい」

聖書マタイ7章13節〜29節

説教者黄允浞副牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21-17番

わたしのように

説教 「あなた方は地の塩、世の光」

聖書 マタイ5章13節～16節 (新約P6)

司式 森洋之 兄・聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄允浚 副牧師

前奏曲 「主イエスを愛する」 J.S.Bach

○ 讃美歌21-17番

1. 聖なる主の美しさと その栄えを 仰いで
まごころもて み前に立ち
み名をたたえ あがめよう
2. 重荷すべて 主が代わって
負ってくださる うれしき
悩み多い 世の旅路も みちびく 主のみ恵み
3. 心つくし 主に仕えよう
とるに足らぬ 私のおの愛のわざも 身も心も
主は受け入れ よろこぶ
4. 闇をかえて 光とする 主の恵みの 貴さ
望みは湧き おそれは消え
胸に満ちる よろこび アーメン

○ フルートによる讃美

「ソナタBWV529 第3楽章」 J.S.Bach

○ わたしのように

1. わたしのように 小さな子でも
真心こめて 主をたたえれば
主の御心に かなうでしょうか
※ 感謝します 感謝します 感謝します 神さま
2. 小鳥の声や きれいなもみじ
野菜 果物 海でとるもの
ふた親 兄弟 友達など
□ □ ※ くりかえし
3. 荷ものよりも 罪やあやまち
おゆるしになる イエス・キリストを
くださいました 父なる神に
※ くりかえし アーメン

聖餐曲 「ハンガリアン農民組曲より」 Bartok

後奏曲 「コレルリのテーマによるフーガ」 J.S.Bach

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 17番 324番

詩編 第60篇 (旧約P893)

説教 「キリストの弱さと強さ」

聖書 IIコリント13章1節～4節 (新約P341)

司式 森洋之 兄

説教者 ・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲 「前奏曲とフーガ ハ長調」 J.S.Bach

○ 讃美歌 17番

○ フルートによる讃美

「ソナタBWV529 第3楽章」 J.S.Bach

○ 聖歌隊による讃美

「主は呼び給う」 D.C.デイ
やさしく主は呼び給う すべての人を
門に立ちて待ち給う すべての人を
来たれ 疲れた人よ
熱き思いこめて 主はあなたを待ち給う
我に来よと主は今 やさしく呼び給う
などで愛の光を 避けてさまよう
帰れや 主に帰れや主に 我が家に
主はあなたを待ち やさしく呼び給う
主はあなたを今呼び給う主は
来たり想え わが主の愛のみもとに
迷う子らを待ち給う主は 罪あるまま
来たりひれ伏せ 帰れ我が家に 疲れた人よ
熱き思いこめて 主はあなたを待ち給う
あなたを待ち給う アーメン

○ 讃美歌 324番

聖餐曲 「ハンガリアン農民組曲より」 Bartok

後奏曲 「コレルリのテーマによるフーガ」 J.S.Bach

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。